

平成 28 年 2 月 22 日  
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会  
(改定日 平成 28 年 2 月 22 日)

## 平成 28 年度上期PETボトル再商品化に関する操業管理月報の作成について

PETボトルの再商品化を当協会より受託する事業者にあつては、当協会との再商品化実施契約に定めるように、処理原料の引き取りから再商品化製品の販売に至る各操業過程の実績を記録し、保存される必要があります。指定の様式・記載方法に基づき月次および年次の報告を下記のとおり行ってください。

なお、当操業管理書類の内容は現地検査における調査事項となります。また各事業者の記録内容は公表しませんが、一部の全体集計値は公表することがあります。

### 1. 操業管理書類(日報・月報・半期報)の概要

添付別紙「操業管理書類(日報・月報・半期報)に関する説明」または「操業管理月報 記入例(EXCEL)」をご参照ください。

#### (1) 操業管理日報

- ① 毎日の処理原料の引き取り、再生処理、再商品化製品の販売等、再商品化の各過程の実績を記録して管理する。
- ② 当協会への提出は不要ですが、現地検査の際に参照させていただきますので、必ず再生処理工場に保管してください。日報は前年度と当年度分を保存してください。(再商品化実施契約第 10 条 9 項にあるように 契約期間終了後月報類は5ヶ年の保存です。)
- ③ 様式は定めませんが、操業管理月報に記載すべき内容を記載してください。

#### (2) 操業管理月報

平成 28 年度上期の操業管理月報より、原料投入量、原料在庫量、製品製造量、製品販売量、製品在庫量について、同じ書式内で前期の繰越し分の報告が可能となりました。

平成 27 年度下期の繰越分(平成 28 年 4 月～6 月)については、平成 28 年度上期の操業管理月報内の「前期繰越分」に数値を入力して、提出してください。(平成 28 年度上期と平成 27 年度下期繰越分の操業管理月報を分けて提出しないでください)。

平成 28 年度上期の繰越分(平成 28 年 10 月～12 月分)は平成 28 年度下期の操業管理月報の「前期繰越分」に記入してください。

- ① 操業管理日報の記録を月ごとにまとめ、月間の操業状況を管理する。
- ② 当協会に対しては、添付別紙「平成 28 年度操業管理月報書式及び記入例」に示す様式に従った内容の記録を提出してください。  
(ペレットの製造を含む再商品化工程の場合は、資料 4-8 の各管理項目についての補足説明(14)を参照してください。化学分解法による再商品化工程等の標準様式で表現できない場合は、工程に合う様式を作成し事前に、当協会に連絡ください。)
- ③ 提出方法は、エクセルファイルを作成の上、翌月5日までにREINSお知らせ画面の回答

にアップロードしてください。アップロード方法は資料3をご参照ください。

### (3) 操業管理半期報

- ① 操業管理月報の記録を半期毎でまとめ、操業状況を管理します。
- ② 操業管理月報の月報欄最下段の「合計/在庫」欄を半期報の該当月の行に転記してください。転記方法は資料4-9の(9)を参照してください。
- ③ 当協会に対しては操業管理月報を翌月5日までにREINSお知らせ画面の回答にアップロードすることで操業管理半期報の提出となります。

## 2. 操業管理書類を提出する上での注意点

### (1) REINSによる月次再商品化実績報告との関係

- ① 保管施設からの引き取り実績について  
当操業管理書類での引き取り実績とREINSによる月次再商品化実績報告での引き取り実績とはkg単位で同一値になります。両者の整合を確認のうえ、報告願います。
- ② 製品利用事業者への販売(引き渡し)実績について  
ア. 当操業管理書類での販売実績はREINSによる月次再商品化実績報告での販売実績と操業管理の販売実績はkg単位で同一であることを確認してください。月末の出荷等でREINSによる月次再商品化実績報告と操業管理月報に差異が生じる場合は、必ず操業管理月報に差異が発生した理由を記入してください。ただし、期末(上期:12月、下期:6月)での差異は認められません。必ず12月、又は6月に販売を完了することが必要です。

### (2) その他

- ① 操業管理書類を提出する際は、操業管理月報の様式①の左上に年度・月、事業者名・工場名を必ず記載してください。
- ② 操業管理書類のファイルは必ず、工場内に保管してください。
- ③ 再提出する場合、修正内容をメモで記入ください。また、色を付けるなど修正箇所が一目で分かるようにしてください。
- ④ REINSで上書き修正をした場合は、回答欄に修正日時と修正内容(概要)を記入ください。

## 3. 操業管理書類の報告手順の詳細について

「資料3. 平成28年度PETボトル再商品化業務に伴う各種手続き」を参照してください。

問合せ先

\*オンライン操作方法 ⇒ OPC(オペレーションセンター) 電話:03-5610-6261

\*実績報告、操業管理報告登録データ変更 ⇒ PETボトル事業部 電話:03-5532-8691

## 別紙： 操業管理書類(日報・月報・半期報)に関する説明

### 1. 操業管理日報

操業管理日報とは、各再生処理事業者において再商品化の各過程の実績を記録し、事業運営の向上のための管理に資するものですが、同時に当協会との取引に関する諸数値の根拠を示す基礎データとなるものです。

同一施設で協会委託分と協会委託外の再生処理を行う場合は、両者の明確な分別や法規制対応の確認のため、当協会へは必ず両者の記録を提出してください。

#### 【記録項目】

- (1) 協会委託分の保管施設ごとの PET ボトル引取量、投入量、在庫量
- (2) 協会委託外の PET ボトル引取量、投入量、在庫量  
〔引取量は、市町村独自処理分とその他(事業系等)を区別〕
- (3) 仕掛品発生量、使用量、在庫量(ただし該当のない時は不要)
- (4) 再商品化製品(クリアフレーク、ペレット、ポリエステル原料)の種類ごとの製造量、販売量、在庫量(協会分と協会委託外分を区別)
- (5) 製品の再商品化率(協会委託分と協会委託外分を区別)
- (6) 稼働時間(協会分と協会委託外分の合計の稼働時間)
- (7) 種類ごとの残さの発生量、発生率、搬出量、在庫量  
有価物(マニフェスト処理なし)と廃棄物(マニフェスト処理)を分けて記入して下さい。  
(協会委託分と協会委託外分を区別)

### 2. 操業管理月報・半期報

上記の操業管理項目を月次集計し、日々の変動や月次での平均的な状況等を把握するものです。この記録をもとに、当協会は委託業務の進行状況の把握や問題の有無を確認します。

操業管理月報・半期報の様式①は落札市町村の数により列方向の増減はありますが、様式②は全事業者共通書式となります。事業者での様式や書式・数式変更を禁止します。様式①②とも青くハッチングされたセルは計算式が入っています。ハッチングの無い白いセルにのみ入力してください。

平成 28 年度上期の操業管理月報より、原料投入量、原料在庫量、製品製造量、製品販売量、製品在庫量について、同じ書式内で前期の繰り越し分の報告が可能となりました。

平成 27 年度下期の繰越分(平成 28 年 4 月～6 月)については、平成 28 年度上期の操業管理月報内の「前期繰越分」に数値を入力して、提出してください。(平成 28 年度上期と平成 27 年度下期繰越分の操業管理月報を分けて提出しないでください)。

平成 28 年度上期の繰越分(平成 28 年 10 月～12 月分)は平成 28 年度下期の操業管理月報の「前期繰越分」に記入してください。

3. 操業管理月報の各項目についての補足説明

(1) 引取量

【協会委託分】

平成		年度操業管理報告書 様式① (市町村別明細)				
		PETボトル引取量 (A)				
		協会委託分				
日		A町	B町	C市	D都	A
*備 種別 繰越		実測	実測	実測	実測	実測
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

- ① 協会委託分は保管施設ごとの引取量を様式①に記載してください。単位は kg です。
- ② 落札市町村の増減に応じて列を追加してください。追加する方法は、列を選択し「コピー」、右クリック「コピーしたセルの挿入」の手順です。端の列の市町村(画面の A 町や D 都)でコピーを行うと、数式が正しくコピーされないため、真ん中の市町村(画面 B 町や C 市)で行ってください。

【協会委託外分】

平成		年度操業管理報告書 様式②				
		PETボトル引取量				
		協会委託外			引取量合計	協会委託分
日		協会委託分 小計	市町村独自	その他	小計	協会委託分 小計
備種別 前月繰		実測	実測	実測	実測	実測
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						

- ③ 操業管理月報の引取量とREINSによる月次再商品化実績報告の引取量と同じであることを確認してください。
- ④ 協会委託外分の引取量は
  - ・市町村独自分
  - ・その他(事業系等)
 を区別し、様式②に記載してください。単位は kg です。

(2) 原料投入量

- ① 再生処理設備に原料として投入した数量です。単位は kg です。
- ② 協会委託分は保管施設ごとの投入量を様式①に記入してください。(画面の絵:省略)

【協会委託外分、協会委託分の前期繰越分】

平成		年度操業管理報告書 様式②							
		PETボトル引取量							
		協会委託外			引取量合計	協会委託分	原料投入量		前期繰越分
日		協会委託分 小計	市町村独自	その他	小計	引取量合計	協会委託分 小計	協会委託外 小計	前期繰越分 協会委託分
備種別 前月繰		実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測
1									
2									
3									
4									
5									
6									

- ③ 協会委託外分は市町村独自分とその他(事業系等)の合計投入量を様式②に記入してください。
- ④ 前期の繰越原料がある場合、様式②の前期繰越分欄に前期繰越原料の投入量を記入してください。繰越分については保管施設ごとの報告は不要です。

### (3) 原料在庫量

#### 【協会委託分】

平成	年度操業管理報告書 様式① (市町村別明細)						
	年度						
	月度操業管理月報①						
日	PETボトル引取量 (A)				PETボトル在庫量		
	協会委託分				協会委託分		
	A町	B町	C市	I部	A町	B町	C市
*繰越欄	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測
1							
2							
3							
4							
5							
6							

管理報告書 様式②						
年度						
管理月報②						
PETボトル引取量			原料在庫量			
協会委託外			協会委託分			
市町村独自	その他	小計	協会委託外	小計	前期繰越分	協会委託分合計
実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測

- ① 様式①のPETボトル在庫量欄への日々の記入は不要です。前日在庫、引取量と原料投入量から自動計算されます。しかし、最上段の繰越欄だけは、前月末の在庫量を記入してください。これで前月在庫を引き継ぎます。ただし、期初（上期は4月、下期は10月）は、全事業者ともこの繰越欄にゼロを入力してください。
- ② 協会委託分の原料在庫については様式②の原料在庫量欄（M列）に様式①の入力結果が小計として反映されます。
- ③ 協会委託外分の原料在庫については様式②への記入は不要です。前日在庫、引取量と原料投入量から自動計算されます。しかし、様式②の最上段の繰越欄（N9セル）には、期初、期中に関わらず前月末の在庫量を記入してください。これで前月在庫を引き継ぎます。

- ④ 前期の繰越原料がある場合、様式②の前期繰越分欄に自動計算された原料在庫量が表示されます。ただし、最上段の繰越欄（P9セル）には、期初、期中に関わらず前月末の前期繰越分の在庫量を記入してください。
- ⑤ 様式①のPETボトル在庫量および様式②の原料在庫量の月末にある調整欄は、棚卸等を実施した場合、実際の量と異なる場合、その差分を記入してください。

### (4) 仕掛品

再生処理設備によっては投入から再商品化製品の製造までの間の機器に加工過程のものが仕掛品として残る場合があります。この量を測定(直接測定が不可能なときは推定でも可)して記載してください。単位はkgです。(画面の絵:省略)

選別不良で、再選別のために多量に再商品化工程から外して保管する場合も仕掛発生欄に記載してください。

- ① 仕掛欄は協会委託分についてのみ報告してください。
- ② 前期繰越分の原料についての仕掛報告は不要です。

### (5) 製造量

投入した原料から出来あがった製品の量を協会委託分、協会委託外分、前期繰越分に分けて様式②の製造量欄に記入してください。単位はKgです。

(6) 販売量

製品販売量を協会委託分、協会委託外分、前期繰越分に分けて様式②の販売量欄に記入してください。単位はKgです。

(7) 製品在庫量

製品量								
販売量			在庫量				協会委託分合計	全製品在庫合計
協会委託外	小計	協会委託分	協会委託分	協会委託外	小計	協会委託分	協会委託分合計	
支測	支測	支測	支測	支測	支測	支測	支測	支測

① 協会委託分の製品在庫量について様式②の製品在庫量への記入は不要です。前日在庫、製造量、販売量から自動計算されます。しかし最上段の繰越欄（A F 9セル）に前月末の製品在庫量を記入してください。これで前月在庫を引き継ぎます。ただし、期初（上期は4月、下期は10月）は、全事業者ともこの繰越欄（A F 9セル）にゼロを入力してください。

② 協会委託外分の製品在庫量について様式②の製品在庫量への記入は不要です。前日在庫、製造量、販売量から自動計算されます。しかし最上段の繰越欄（A G 9セル）に期初、期中に関わらず前月末の製品在庫量を記入してください。これで前月在庫を引き継ぎます。

③ 前期の繰越製品在庫がある場合、様式②の前期繰越分欄に自動計算された製品在庫量が表示されます。最上段の繰越欄（A I 9セル）に期初、期中に関わらず前月末の前期繰越分の製品在庫量を記入してください。これで前月在庫を引き継ぎます。

(8) 再商品化率(仕掛考慮)

再商品化率は再商品化委託料金の算出の根拠となる入札時再商品化率の裏付けとなる実績値を示すものです。

操業管理月報の様式②で再商品化率は仕掛品増減を考慮して自動計算されます。事業者が自ら計算する必要はありません。

- ① 仕掛品を考慮した再商品化率とは下記計算式によります。  

$$\text{再商品化率} = (\text{製造量} + \text{仕掛発生} - \text{仕掛使用}) \div \text{投入量}$$
- ② 再商品化率は小数第一位まで表示されていることを確認してください。
- ③ 実績の再商品化率が入札時の再商品化率と乖離があり、委託料の支払い金額が実態と整合しない場合は、委託料計算に用いる再商品化率を入札時の再商品化率に変えて、実態の再商品化率に変更する場合があります。操業管理月報の在庫とREINS繰越在庫に注意し、差(±)が大きい場合には協会へご連絡ください。

(9) 累計物質収支(仕掛考慮)

操業管理月報の様式②では半期の累計物質収支を確認するため、半期報の半期合計欄に物質収支欄が用意されています。

- ① 事業者自ら物質収支を計算する必要はありません。
- ② 物質収支が±2%以上乖離する場合、その原因・理由を余白に記載してください。

(10) 指定可燃物関連

月度操業管理月報②									
日	製品量				協会委託分		指定可燃物関連		稼働時間 (h r)
	在庫量	協会委託分 (仕掛考慮)	全製品在庫合計	協会委託分 (仕掛考慮)	再商品化率 (仕掛考慮)	累計物質収支 (仕掛考慮)	指定可燃物貯蔵届出量 (原料+製品)	事業者実在庫 (原料+製品)	
値種別	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測
前月繰									
1									
31									
調整									
合計/在庫	1								
年度操業管理半期報②									
	製品量				協会委託分	①	可燃物	②	稼

- ①当協会より、こちらで認識している貴社の指定可燃物貯蔵届出量を別途連絡致しますので、その値を指定可燃物貯蔵届(原料+製品)届出量の合計/在庫欄に記載してください。単位は kg です。
- ② 事業者実在庫には該当する品目(原料在庫のみ、もしくは原料在庫+製品在庫等)の月末数量を算出し入力してください。原料も製品も指定可燃物に該当しない場合、この欄へは“-”を記入してください。
- ③ これにより、月末時点で指定可燃物貯蔵届出量を超過した保管が行われていないか、事業者自ら確認してください。

(11) 稼働時間

再商品化工程中の主要機器(たとえば粉砕機)の稼働時間(運転時間)を記載してください。7時間30分の場合は7:30、7時間40分は7:40等記入してください。

前期繰越分がある場合、分けて稼働時間を報告する必要はありません。協会委託外分を含めた全体の稼働時間を記入してください。

(12) 一廃許可内容

月度操業管理月報②									
日	協会委託分		指定可燃物関連		稼働時間 (h r)	一廃許可内容			
	再商品化率 (仕掛考慮)	累計物質収支 (仕掛考慮)	原料+製品 貯蔵届出量	事業者実在庫 (原料+製品)		t/日	時間/日	t/時間	①-1 着色
値種別	実測	実測	実測	実測	実測	比率	比率	比率	実測
前月繰									
1									
2									
3									
4									
5									
6									

- ① 様式②の一廃許可内容列のAQ7セル、AR7セルに一廃設置許可証に記載の
  - ・ 1日当たり処理能力(トン)
  - ・ 一日当たりの操業時間
 を事業者自ら記入してください。
- ② 日々投入量と稼働時間の入力が行われると、上で入力した一廃の許可量と比較し、許可量に対する比率が表示されます。許可量を超過すると赤字で表示されます。
- ③ 一廃許可量を超過した操業を行っていないかどうかを事業者自ら管理してください

(13) 残さ(有価物、廃棄物)

再商品化製品(クリアフレーク、ペレット、ポリエステル原料)以外の残さ(有価物、廃棄物)は、下記に従って分類し、有価物と廃棄物を区別して、発生量、処理量及び在庫量を把握・管理してください。操業管理月報での報告は今期分の協会委託分のみとします。有価物とはマニフェスト処理を行わないもの、廃棄物とはマニフェスト処理を行うものを指します。

①着色ボトル、②PET粉(ドライ・ウエット)、③キャップ・リング、④ラベル類、⑤異物(ラベル、金属等)入りフレーク、⑥異種ボトル(PET以外)、⑦結束バンド等(PP、PETバンド、ラップ類)、⑧金属くず(缶類、番線等)、⑨汚泥、⑩ガラスくず・陶磁器類、⑪その他(掃き寄せ、再生不可品等)、⑫ペレット化工程残さ

なお、日々の発生量が少ない場合は、数日分をまとめて測定し、管理してください。

※操業管理月報に記載の産業廃棄物については、マニフェストを発行して管理をしてください。

【紙マニフェストの管理方法】

- ・A 票、B2 票、D 票、E 票をまとめてファイリングしてください。
- ・排出する数量は、必ず排出する事業者自ら記入してください。
- ・できるだけ重量での管理をしてください。
- ・協会委託分の数量をマニフェストの備考欄に記入してください。
- ・産業廃棄物管理票のマニフェストを使用してください(建築系廃棄物マニフェストは使用しないでください)。

【電子マニフェストの管理方法】

- ・受渡確認票に協会委託分の数量を記入し、コピーをファイリングしてください。

(14) ペレットの製造を含む再商品化工程の場合はペレットまでの実績を以下の要領で記載してください。

① 製品が全量ペレットの場合

- ア. 製品の製造量、販売量及び在庫量はペレット量を記載してください。
- イ. 再商品化率はペレットの生産量を投入量で除した値で記載してください。
- ウ. 有価物、廃棄物はペレット化工程残さも記載してください。

② 製品がフレークとペレットの場合

- ア. 製品の製造量、販売量及び在庫量はフレークとペレットの欄を設け両方を記載してください。
- イ. 再商品化率はフレークとペレットの製造量の合計を投入量で除して算出してください。
- ウ. 廃棄物・有価物はペレット化工程残さも記載してください。



#### 4. 操業管理月報の作成に関する注意事項

- (1) 書類に記載する数値は、原則実測値を記載してください。  
何らかの理由で、実測が不可能な場合のみ、計算値を記載してください。この場合、実測が不可能な理由と計算式、その根拠、合理性を説明する文章・データ等を必ず付記してください。これらは毎月提出する管理月報のエクセルファイルの中に新たにワークシートを作成し、記載してください。
- (2) インプット(ペール投入量)100に対して、アウトプット(製品量+残さ(有価物+廃棄物)発生量+仕掛在庫)は必ずしも100になるとは限りません。このインプットに対するアウトプットを比率で表したものを物質収支と呼びます。平成28年度の操業管理月報では様式②の物質収支(AM列)の半期報最下段に累計の物質収支が自動計算されて表示されます。  
PETボトルの再生処理工程では、異物や水分の出入りがありますから物質収支が100になる保証はありません。無理に100に合わせる必要もありません。操業実態をできるだけ正確に表現するようにしてください。しかし、物質収支が±2%以上の変動がある場合は、その要因を分析し操業管理月報の下段余白に分析結果を記載してください。
- (3) 協会委託分は保管施設ごとの引取量、投入量、在庫量を様式①に記載してください。ペール保管場所も、保管施設ごとに分別して保管して、管理書類の数量が確認できるように現物も管理してください。
- (4) 協会委託外のペールの引取量、投入量、在庫量は引取先別に記載する必要はありません。合計値で様式②に記入してください。なお、引取量については、協会委託外を市町村独自処理とその他に区分して記入してください。
- (5) エクセルファイルの青いセル(在庫の数値や、再商品化率、合計値の欄)は数式を用いて、数値を表示しています。青いセルには値を入力しないでください。月末合計値等を、電卓で計算して記入しないでください。(協会での確認作業の効率化にご協力ください)
- (6) 日々、実測値を記入していて、水分の蒸発等で現实在庫と書類上の数値が合わない場合は、その差異を調整するために、調整欄に調整数量を記載して、欄外に調整の理由等を記載してください。
- (7) 操業管理月報の月末の数値と、操業管理半期報の数値は、必ず合っていることを確認してください。
- (8) 余白に特記事項を入力する場合、特記事項を入力したセルと、該当する数値を赤字で入力してください。また、セルに色を付けてわかりやすくしてください。
- (9) 月報合計欄の半期報への転記方法を以下に示します。

作業管理報告書 様式①  
平成 年度作業管理報告書 様式① (市町村別明細)

作業管理月報①

単位: kg

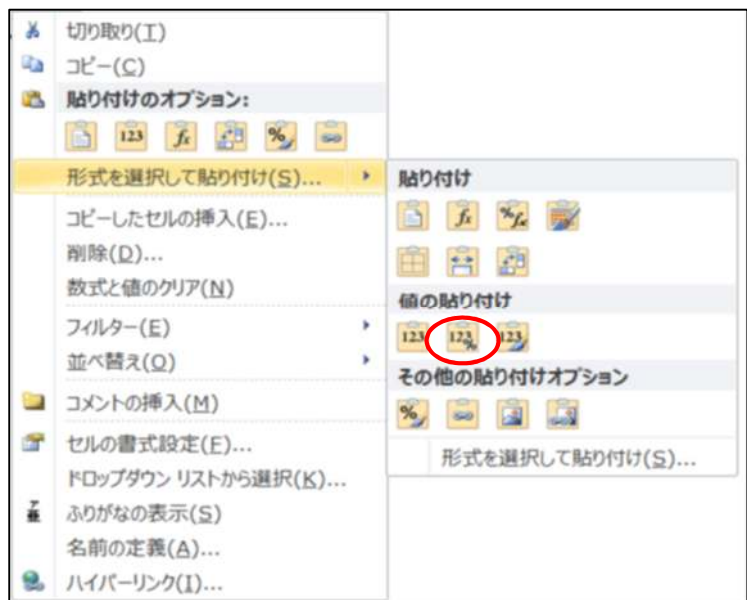
日	PETボトル引取量 (A)				PETボトル投入量 (B)				PETボトル在庫量				日
	協会委託分				協会委託分				協会委託分				
	A町	B町	C市	D郡	A町	B町	C市	D郡	A町	B町	C市	D郡	
1	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測	実測	1
2													2
3													3
4													4
5													5
6													6
7													7
8													8
9													9
10													10
11													11
12													12
13													13
14													14
15													15
16													16
17													17
18													18
19													19
20													20
21													21
22													22
23													23
24													24
25													25
26													26
27													27
28													28
29													29
30													30
31													31
**合計													

年度作業管理半期報①

月	PETボトル引取量 (A)				PETボトル投入量 (B)				PETボトル在庫量				月
	協会委託分				協会委託分				協会委託分				
	A町	B町	C市	D郡	A町	B町	C市	D郡	A町	B町	C市	D郡	
10													10
11													11
12													12
1													1
2													2
3													3
下取													下取

青色のセルは数値等が入っているで入力する必要はありません。白色のセル内のみ入力してください。

作業管理月報の合計欄 (①) を選択しコピーします。  
つづいて、半期報の該当月右側のセル (②) にカーソル合わせ、値と数値の書式の貼り付けをしてください。値と数値の書式の貼り付けは右クリックして表示される以下のメニューから実行することが出来ます。



様式①、様式②とも同じ方法で転記することができます。

以上